



かでな

平成28年12月発行

第158号

題字：石嶺 杏佳
屋良小学校6年生

議会だより



竹馬で行進!! (栄光幼稚園大運動会)

平成28年9月定例会 ~主な内容~

(会期 9月9日～30日)

- 平成27年度 決算 P-2,3
- 平成28年度 9月補正 P-4
- 平成28年 第43、44回 臨時会 P-5
- 各種補助団体との懇談会 P-6,7
- 町政を問う! 15名の議員が一般質問 P-8
- 議会見てある記、題字紹介 P-24



町の文化財・名所：沖縄戦上陸跡地の記念碑

太平洋戦争末期の1945年4月1日、米軍は嘉手納町を中心とした沖縄本島西海岸から上陸した。私たちは沖縄戦の実状と体験から、戦争の不条理と残酷さを正しく次代に伝え、恒久平和を祈念してこの碑を建立する。

※沖縄戦上陸の跡地は、兼久海浜公園ウォーターパーク横にある。

嘉手納町議会ホームページ 嘉手納町議会

検索

町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

3百万円の決算を認定



9月 定例会

平成28年第45回（9月）定例会を9月9日から30日までの日程で開催した。

本定例会では、平成27年度決算認定（一般会計、水道事業会計、3特別会計）及び、平成28年度補正予算4件を含む議案9件、報告2件、意見書1件、決議案2件、陳情2件が提案され可決した。

7,344千円
10,292千円
72,562千円
22,858千円

164,726千円

かでな文化センターバリアフリー機能向上工事

平成27年度 92億8千3



フォークリフト購入事業

平成27年度 岁入歳出決算（1万円未満切り捨て）

会計名	歳入	歳出
一般会計	92億8,302万円	91億1,302万円
特別会計	国民健康保険	27億9,266万円
	後期高齢者医療	2億3,982万円
	下水道事業	3億7,429万円
水道事業会計	4億2,170万円	3億4,473万円

平成27年度の主な施策

- 住宅リフォーム支援事業補助金 15,765千円
- 嘉手納町民農園整備基本計画策定業務 4,513千円
- 道の駅かでな機能拡充事業 22,032千円
- 防犯灯・街路灯LED化推進事業 49,429千円
- 比謝川遊歩道急傾斜地崩落防止対策事業 51,840千円
- 兼久海浜公園リニューアル基本計画策定業務 10,584千円
- 嘉手納小学校屋内運動場建設事業 377,654千円
- 屋良小学校建設事業 49,778千円
- 嘉手納幼稚園園舎建設事業 279,567千円
- 生徒指導補助員の配置 3,128千円
- ICT活用事業教育用備品購入 3,551千円



学校給食共同調理場建設現場
(平成28年9月撮影)

- 小規模保育事業設置促進事業 7,209千円
- フォークリフト購入 1,393千円
- 観光ガイド運営支援業務 1,968千円
- 水釜護岸景観整備事業 4,698千円
- 屋良城址公園総合再整備基本設計業務
- 嘉手納町密集市街地地区改善基本計画
- 嘉手納小学校敷地造成整備事業
- 屋良小学校屋内運動場併行防音工事
- 屋良幼稚園園舎建設事業 185,751千円
- かでな文化センターバリアフリー機能向上工事

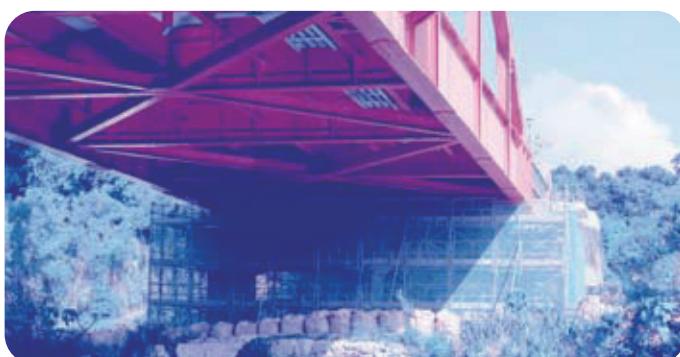
平成28年度一般会計9月補正予算可決

1億1,764万円増

会計名	補正額	補正後予算額
一般会計	1億1,764万円	94億3,585万円
国民健康保険特別会計	256万円	24億8,046万円
後期高齢者特別会計	50万円	2億4,092万円
下水道事業特別会計	115万円	3億5,875万円



青少年センター移転工事(地主会館 2F)



比謝川大橋補修工事



道の駅駐車場整備
(屋良東部地区地域振興施設機能拡充工事)

◎教育費	※	◎土木費	※	◎商工費	※	◎農林水産業費	※	◎総務費	※
◎衛生費	※	◎民生費	※	◎衛生費	※	◎衛生費	※	◎総務費	※
◎農林水産業費	※	◎農林水産業費	※	◎農林水産業費	※	◎農林水産業費	※	◎総務費	※
◎ハーリー船造船委託	※	◎ハーリー船造船委託	※	◎ハーリー船造船委託	※	◎ハーリー船造船委託	※	◎総務費	※
◎比謝川大橋補修工事	※	◎比謝川大橋補修工事	※	◎比謝川大橋補修工事	※	◎比謝川大橋補修工事	※	◎総務費	※
◎青少年センター移転工事	※	◎青少年センター移転工事	※	◎青少年センター移転工事	※	◎青少年センター移転工事	※	◎総務費	※

可決された主な補正予算の概要



ハーリー船 3槽造船

契約・陳情・意見書抗議決議

※契約・陳情

議案	件名	結果
第14号	町道46号線ほか1件整備工事請負契約について	原案可決
第15号	比謝川遊歩道急傾斜地崩落防止対策工事(その6)請負契約について	原案可決
陳情 第3号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について	採択
陳情 第4号	県産品の優先使用について	採択

する。
嘉手納町議会は、関係当局に対し、厳重に抗議する。



飛行を再開した米軍攻撃機AV-8ハリアー(同型機)

第45回定例会
28.9.28

AV-8ハリアーの墜落事故に対する抗議決議

臨時会



沖縄防衛局へ抗議要請

第43回
28.7.21 F-16戦闘機の嘉手納基地への大挙飛来に対する抗議決議

平成28年7月12日と13日の両日にかけて、米軍三沢基地所属のF-16戦闘機29機が事前通知なく飛来した。相次ぐ外來機の暫定配備により飛行訓練が激化し、嘉手納町民は昼夜問わず発せられる異常な爆音と悪臭、そしていつ落下するかわからない不安と恐怖の中で生活を余儀なくされている。もはや我慢の限界を超えて、これ以上の基地被害は断じて容認できない。戦後71年において、未だ解決しない基地問題を抱えたままで町の発展は到底見込まれず、具体的な基地の整理縮小を日米両政府に強く求めるものである。

は地域住民の生命、財産を常に危険にさらし、受忍限度をはるかに超えている。よって、嘉手納町議会は、関係当局に対し、厳重に抗議する。

今回の事故はフレア装置の必要なない着陸状況においてパイロットの誤操作は未熟そのもので、不注意ですまされるものではない。基地周辺住民の生命、安全を軽視した危険を回避する意識の欠如を断じて許せるものではない。



第43回
28.7.21 F-15戦闘機からのフレア誤射に対する抗議決議

第44回
28.7.28

議案	件名	結果
第6号	平成28年度嘉手納町一般会計補正予算(第4号)(甲子園派遣寄付金)	原案可決

の懇談会を開催 9団体が参加～

- 交通安全母の会



「沖縄県は飲酒運転26年連続

婦人会活動が弱くなつた原因として、共働きの家庭が多く婦人会活動ができる人が少ない。子供

区）

議員も交通安全活動にもっと関心を持つて取り組んでいただきたい。

子どもたちの登校時の交通安全指導に積極的に参加してほしい。

● **自治会長会**

自治会における婦人会の現状として役員を引き受ける人がいないので正式な会としては存しないが、予算もあり、必要に応じて活動は行なつてている。（北区）

総務財政常任委員会

ワースト1だが、この現状をどう思うか

このような各種団体と議会所管委員会との懇談会は初めての試みでしたが、参加された各団体の感想などを踏まえ、今後の開催については検討していきます。

※取り急ぎ、各団体から出された主な意見・要望の概要のみを掲載します。

「各種団体と議会との懇談会」を平成28年10月17日から20日の日程で開催しました。懇談会には19団体の各種団体役員の方々が参加し、各団体活動における課題、町及び議会に対する様々な意見・要望が出されました。

頂いたご意見・ご要望は、今後、担当する委員会の審査や一般質問等を通じて町の基本的考え方を確認し、案件によっては改善を求めていきます。



文教厚生常任委員会

町に対し、自治会長会として文書で要請をしている。

町からの補助金に関し、現在一人当たり年間700円の補助金を1000円に上げてほしい。

世帯に配付している。（中央区）アパートが多く、区費の徴収が困難になつていて、広報を配布する人手がなく、自治会長が全

家があるので早急に撤去してほしい。（北区）

育成会の活動はできるが、婦人

会活動はできない。（南区）

区民の高齢化が進み、班長をできる人がいない。区費の徴収もないため、実態を調査し対応するため個人情報を開示してほしい。

● **文化協会**

文化協会の円滑な運営のため、事務局長に社会教育課長の配置を求める。

● **スポーツ少年団**

各スポーツ、部活動における指導者の確保が困難になつている。活動へのご理解ご協力をお願いしたい。

● **子ども育成連絡協議会**

自治会事務所は基本的に土・日・祝祭日は閉館のためトイレが使えない。子どもたちの居場所づくりの確保を求めたい。

● **P.T.A連合会**

嘉手納中学校創立70周年記念事業への協力を。

● **障害福祉協会**

高齢化に伴い会員が減少傾向にある。交流（敬老会やピクニック）等を通して、会員の確保と、より充実した活動を行いたい。

● **民生委員児童委員協議会**

民生児童委員へ調査依頼があるが、対象者の名前等がわからぬいため、実態を調査し対応するため個人情報を開示してほしい。

● **老人クラブ**

健康寿命と認知症対策について、行政・地域一体となつた取組みを。

各種補助団体と ～初の試み！1

●精神療養家族会

精神障害者保健福祉手帳(1級・2級)保持者にも医療費の助成を。また、一人暮らしの障がい者に対して、火災報知機を設置してほしい。(ただし、既に支給されている対象者を除く)

●健康を守る会

特定健診の受診率向上をめざし、健診未受診者へ電話や訪問による受診勧奨をしているが、健診受診向上につながっていない。

●食生活改善推進協議会

児童館で放課後教育教室を実施しているが、調理用のスペースがないため危険であり、調理できるメニューも限られている。児童館を安心安全に調理体験できる食育の場にしてほしい。

●母子寡婦福祉協議会

会員が派遣される保育所と子どもを預ける保育所が同じになるようにしてほしい。また、幼稚園でも土曜日の預かり保育の実施を希望する。

●社会福祉協議会

コムニティーソーシャルワーク事業及び小地域福祉活動事業等について、本会の事業へのご理解と更なるご支援を頂きたい。

●遺族会

戦没者の慰靈顕彰事業(町主催の平和祈願祭)の継続実施をお願いしたい。

建設経済常任委員会



①国道58号バイパスの進捗状況の情報を提供して欲しい。
②比謝川の今後を考えると堰の撤去やしゅんせつのめどが立てられない。漁港の沖合への移転を要望していきたい。

①久得平山ほ場の公募方法で告知が行き届いてない。
②チップ事業は農家として評価している。ただ、交付日が毎週水曜日と決められている。交付日を増やしてほしい。

●農業連絡協議会

③新しい冷蔵庫が施錠されている。連休等で農作物が保管できない。改善を希望する。
④農耕バスの緩和策はないか。
⑤農地の世代交代禁止で遊休地が目立つ。改善策はないか。
⑥害鳥が異常発生している。対策を考えてほしい。

●基地対策協議会



①嘉手納基地の目視調査に議員も参加し、そこで得た内容を抗議行動等に活用してほしい。
②お互いの実施する研修会に参加呼びかけ、基地問題等の共通認識を図りたい。
③議会が持っている情報提供する情報交換会を実施してほしい。
④嘉手納基地及び嘉手納弾薬庫等の合同視察を行いたい。
⑤基地対策総会への基地対委員全員の出席を要望する。

⑥屋良城址公園、兼久海浜公園のリニューアルでは、若者がひきつけられる魅力ある公園にしてほしい。

⑦農業委員会の活動が、農家に伝わらない。活動を強化してほしい。

⑧産業まつりで悪天候の場合、スポーツドーム等へ場所変更を望む。

⑨屋良地区の空き地に対する町の取組みを伺いたい。

基地対策特別委員会

町政を問う

題字：田崎 博美 議員

田仲康榮 P 9

■ 基地返還後の経済効果と返還促進の具体化を

金城利幸 P 10

■ 「基地と地域振興策予算はリンクせず」町長の所見を伺う

安森盛雄 P 11

■ 人材育成補助金のあり方を問う

福地勉 P 12

■ 町長の姿勢を伺う

新垣貴人 P 13

■ 兼久海浜公園子ども用遊具の優先的設置を

宇榮原京一 P 14

■ 嘉手納町子ども医療費助成事業制度の現状は

知念隆 P 15

■ ふるさと納税に対する御礼品制度の進捗状況は

古謝友義 P 16

■ 交通対策を問う

仲村渠兼栄 P 17

■ 主要施策（新規・継続）事業の評価を問う

奥間政秀 P 18

■ 再利用食器の普及を

照屋唯和男 P 19

■ 土地利用計画と住環境整備の現状と課題は

石嶺邦雄 P 20

■ 小中学校でのパソコン活用状況は

當山均 P 21

■ 基地問題改善に向け積極的対応を

田崎博美 P 22

■ 固定資産税に対する課税が適正に把握されているか

徳里直樹 P 23

■ 子どもの貧困問題を問う

15人の議員が
一般質問

(質問順)



田仲康榮

問1

1 返還のメドは立っていないが、日米の安全保障環境の状況

の合計額、返還後の跡地利用業者の売上などの合計額、返還後の経済効果の倍数、返還後の生産誘発額、雇用数など。

③ 関係者とのコンセンサス、具體化は。

答 町長、企画財政課長

問 「任期中に改憲を果たした （二）議院一院制を採る（改憲又は憲法）」

の内容について十分把握してない。現憲法に定める国民主権、基本的人権、民主主義、立憲主義の多く、

可能で、行政の「やる気」の問題だ。
①速やかに高卒までの拡大を。

現行憲法を擁護し、
「平和憲法手帳」配付を

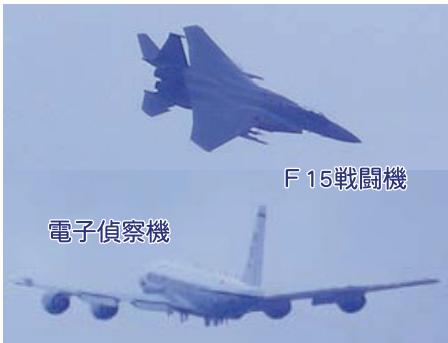
問2 ③返還後の跡地利用構想は民間空港の整備を核とした計画を策定。返還の見通しが全く立ってないし、全面返還の検討は行なつてない。

答①～③
憲法教育は学校で実施
町長

に医療費助成を行なうことははじめて重要な施策だ。これまで、乳幼児、中学卒業までの医療費無料化の実施を求める、現在中止卒業まで実施されている。医療費助成の拡大は現在、高校卒業までの医療費

町当局は基地は町づくりの阻害要因、経済効果の試算は今後の課題、検討、返還プロジェクトチームの具体化は現在ない。と答えた。中長期的な嘉手納基地返還への具体的跡地利用計画などがないことが明らかになつた。

2 嘉手納基地返還後の直接経済効果は検討したのか。返還前の軍用地料、軍雇用員の所得など



10月20日 嘉手納基地早朝

① 現行憲法の擁護義務への町長の見解は。

③新有権者となる18才、19才、新成人に「平和憲法手帳」の配布を。

高校卒業までの 主な進路



「自民党の改憲案」パンフ

(14・6%)通院は5町村(122%)。

年間数189万4000円の
年分で約568万2000円
(自動償還手数料は含まず)。

高校卒業までの 主な進路

問 少子化対策として子育て世帯の負担軽減をはかり、子ども^の疾病的早期判断、治療を目的

(14・6%)通院は5町村(122%)。

年間数189万4000円の
年分で約568万2000円
(自動償還手数料は含まず)。

嘉手納町議会だより

みは使い分ける菅官房長官と鶴保沖縄担当大臣。一括交付金の消化率(能力)を根拠に便宜的に使い分ける演出か。本質をどう読むか。戦後長期に渡り今日まで基地負担(被害)を負わされている嘉手納町民の想いは。

答 町長

「リンクしない」

問 国と沖縄県の財政関係が「基地交付金は固定資産税の代りで見返りではない

たされてきた。しかしこの風説

問 町は既存建物に新たな屋上展望台の増設を計画中。県内の道の駅でも唯一、米軍基地を眺望できる施設として、その集客力は毎年パワーアップ。県内外をはじめ近年は外国人観光客も急増している。それだけにソフト、ハード、オペレーションと多岐に渡る戦略が命題となる平成30年の完成までの道筋を明確にせよ。

問 通称「かりゆし通り」と「水釜通り」の改良工事について、関係者からの問い合わせが続いている。そこで再度確認したい。地域住民の長年の待望の工事だけに、辛抱強く調整を重ねて安心・安全・快適な歩車道の完成を願う。

答 都市建設課長

慎重に進めて参りたい

住民説明会や関係者調整を

28年度は「かりゆし通り」を全線工事実施。「水釜通り」は朝汐理容室から西に150m先行。残りの西区全域650mは29年

度で見通しを立てる
**葬斎場の機能充実強化
で快適環境づくりを**

問 5

雨風よけ対策の進捗状況。
参列者屋根の駐車場2台分程度の再延長でさらなる快適環境づくりを図れ。

答 産業環境課長

当面は現状維持で対応

風よけ対策は面積の関係で工夫が必要。屋根延長と併せ当面は現状維持で対応したい。



金城利幸

「基地と地域振興策
予算はリンクせず」
町長の所見を伺う

問 「沖縄の基地と地域振興予算はリンクする」と明言。ところ

「実例」として近の騒音」が、軍基地を展望する県外の子ども、学生、一般客の一部の会話。

「嘉手納町は騒音があるが、町民は、お金をもらえていいよね」これが将来次世代に風説として定着する危険性の要因である。

道の駅改良増築事業案決定
までの道筋を明確にせよ

の増設計画⑥ハーベストリーフ好
策⑦既存建物との接続⑧新設展
望台の有料化の有無。その他の
ご意見ご提案を受けて今年12月
までに集約し決定したい。
平成30年の完成を目指す。

答 センターの建議には疑義があり、駐車場確保も困難な狭隘な土地環境とニーズ調査も浅かつた。本問題を次世代に残すなどして何度も用途変更について提案をしているが、進捗状況は。

(情報操作)は時代の変節と共に深層が見えてきた。国と地方は平等でありリンクしない。

同時に沖縄への基地集中を正当化して行く動機につながる。

答 産業環境課長
内容方針を12月末で決定し30年完成を目指す

の施行を予定。現在は関係者調整を慎重に進めている。

答 産業環境課長 内容方針を12月末で決定し30
三毛城二日目

食品加工センターの用途 変更問題を次世代に残すな

の広報(予算決算情報)を通して一般的に日常的に町民に説明し理解を求めたい。

ご指摘の①売上企画②ソフアト
面③ハード面の展望台増設・店
舗増床・回遊性④イベント会場

食品加工センターの用途 変更問題を次世代に残すな

嘉手納町議会だより



福地 勉

も賛同する

C V 22オスプレイの運用部隊

は嘉手納基地所属なので飛来訓練は懸念している、オスプレイ

の訓練は容認できない。普天間

基地撤去の民意は最大限尊重さ

れるべきである。

オスプレイの問題や新基地建

設について中川県議と意見交換を行った事はなく、県自民党の

この問題への姿勢については答

弁を差し控えたい。

嘉手納基地の被害状況について

コメントは

答 町長

「原告団の意に沿うよう」判決が出来ることを願う

①原告として爆音一次訴訟には

爆音軽減を願い加わっていた。

二次は管理職となり加わってい

ない。基地の機能強化について

はCV22オスプレイの飛来、3

53部隊の駐機場拡張問題、F

35の格納庫など機能強化につい

て容認できない。海軍駐機場が

移転すれば屋良地区の夜間騒音

は軽減すると見込んでいる。

②「建白書」を通してオスプレイ

問題や新基地建設に関し政治姿

勢にフレは無いか伺う

②「建白書」内容について現在で

問1

町長の姿勢を伺う

①爆音差止裁判の結審を受けて嘉手納基地の被害状況について

問2 爆音など、基地被害への取り組みを聞く

①Lden移行を理由に防衛局によるコンター見直しの嘉手納町への影響は

答 基地涉外課長

結論は10月末に防衛局から出

される見通しである

答 町長

「原告団の意に沿うよう」判決が出来ることを願う

①原告として爆音一次訴訟には

爆音軽減を願い加わっていた。

二次は管理職となり加わってい

ない。基地の機能強化について

はCV22オスプレイの飛来、3

53部隊の駐機場拡張問題、F

35の格納庫など機能強化につい

て容認できない。海軍駐機場が

移転すれば屋良地区の夜間騒音

は軽減すると見込んでいる。

②「建白書」を通してオスプレイ

問題や新基地建設に関し政治姿

勢にフレは無いか伺う

②「建白書」内容について現在で

問3 民間航空としての計画は過去にあったが、現計画の見直しも含めて検討したい

行政について問う

②民間航空としての計画は過去にあったが、現計画の見直しも含めて検討したい

答 町長

オスプレイの問題や新基地建

設について中川県議と意見交換を行った事はなく、県自民党の

この問題への姿勢については答

弁を差し控えたい。

答 町長

オスプレイの問題や新基地建

設について中川県議と意見交換を行った事はなく、県自民党の

この問題への姿勢については答

弁を差し控えたい。

で関係機関等と連携をして要請していく。

②現町長の世代でも基地の跡地利用計画の検討を

良い機会が得られると考えられるので、平和メッセージ作品展の時跡地利用の作品募集が出来

答 町長

オスプレイの問題や新基地建

設について中川県議と意見交換を行った事はなく、県自民党の

この問題への姿勢については答

弁を差し控えたい。

答 町長

オスプレイの問題や新基地建

設について中川県議と意見交換を行った事はなく、県自民党の

この問題への姿勢については答



新垣貴人

この数年、役場が主体となつた避難訓練が行われておらず再三、必要性を提起している。また、防災計画に基づく情報の正確な伝達と災害時避難弱者の対応について伺う。

① 平成28年度の町が主体となる避難訓練の実施計画は。

② 戸別型設置防災無線の検討経過は。

③ 災害時など要援護者支援実施計画の進捗状況は。

④ 総務課長

⑤ 教育指導課長

⑥ 福祉課長

⑦ 都市建設課長

⑧ 基地涉外課長

⑨ 駆音防止協定の順守は。

⑩ 要請行動の内容は。

⑪ 町長の基地問題に対する東京組について伺う。

⑫ 公用財産の有効活用を協議などを行っている。

⑬ 幼稚園の預かり保育の拡充や、子育て環境の充実を

⑭ 鯉のぼりフェスタの開催は

⑮ 基地問題の現状を問う

⑯ 防災行政の現状を問う

問2

今年度は基本設計を施工。平成34年度から順次、工事を施工。平成34年度の完成を目指す。また、遊具の優先整備は、今年度の基本設計において早期整備の可能性を検討したい。

防災行政の現状を問う

⑰ 沖縄の特殊な保育事業の変遷もあるが、教育環境は変化してきている。今後、子育て支援を

⑱ 子ども家庭課長

⑲ 基地被害について本町は毎年、関係省庁に対する要請行動を行っている。内容は、航空機騒音対策、事故防止対策、排気ガス対策などを改善するよう要請している。

⑳ 何度も米軍及び関係省庁に対し要請を行っている。今後も継続し基地被害の軽減に取組む。

㉑ 町民からの苦情、基地涉外課の職員の目視調査などで実態を把握している。写真や根拠となるデータを提示し、その都度、沖縄防衛局に対し要請を続け、改善を図って行きたい。

保障条約の名のもとに県民、町民は過重な基地負担を背負わされている。日米安保条約による軍事同盟は、日本国民の安全を保持する上で、その役割を果たしているとはいえ町民への基地被害について看過する事はできない。町の基地問題に対する取組について伺う。

公用財産の有効活用を協議などを行っている。

⑳ 町の土地問題は、深刻な問題だ。限りある土地を有効活用する観点から旧日本ペイント跡地の空きスペースを周辺地域住民が賃借できないか。高い関心と強い要望があり伺う。

㉑ 両幼稚園の預かり保育に対する方針は。

㉒ 旧日本ペイント跡地を地域住民も有効活用出来るよう提案してきたが検討の経過と結果は。

㉓ 町域上空を米軍機、ヘリコプターが頻繁に飛行をしている。飛行ルートの見直しを求めよ。

㉔ 駆音防止協定の順守は。

㉕ 要請行動の内容は。

㉖ 町長の基地問題に対する東京組について伺う。

㉗ 公用財産の有効活用を協議などを行っている。

㉘ 幼稚園の預かり保育の拡充や、子育て環境の充実を

㉙ 鯉のぼりフェスタの開催は

㉚ 基地問題の現状を問う

㉛ 防災行政の現状を問う

㉜ 沖縄の特殊な保育事業の変遷もあるが、教育環境は変化してきている。今後、子育て支援を

㉝ 子ども家庭課長

㉞ 何度も米軍及び関係省庁に対し要請を行っている。今後も継続し基地被害の軽減に取組む。

㉟ 町民からの苦情、基地涉外課の職員の目視調査などで実態を把握している。写真や根拠となるデータを提示し、その都度、沖縄防衛局に対し要請を続け、改善を図って行きたい。

嘉手納町議会だより



一京原榮宇

問1

療養費も助成対象としており限りある予算を入院、通院とともに口座三三〇の医療費助成を迷

現状について伺う。

5月一回クッキー やたこ焼きなどをつくり、食生活改善推進協議会による効果検査会食育収集

設定した目標に達成したのか検証を受けているが、指摘はない。

④ 仮に、高校卒業までの医療費助成を継続、保証するのが最良である。

⑤ 中学生までの医療費助成を継続、保証するのが最良である。

⑥ 576万3000円程度。

答 子ども家庭課長

講会による放課後ミニ食育教室で、ヒラヤチーやモウイの醉の物をつくつて食育を行つてゐる。食育等ができるスペースは確保出来ていると考えている。

4 県は、不用額・繰越額を議題とした縮減策を検討しているが本町では、
4 全額交付決定に向け取り組んでいる状況。

5 病院窓口での無料化（現物給付）について、全国の実施状況は。また、県と連携をとつて現物

2 本町の子どもの貧困率の調査は、自由に意見をあらわせない子ども。

問3 一括交付金の活用状況は

⑤年々、新規事業が少なく継続事業ばかりではないかと思うが。⑥新規事業の開拓に大変苦慮している状況である。

問 本題では平成2年4月よ

り乳幼児医療費助成制度の対象を中学校卒業まで拡大し、さらなる子育て支援の充実に取り組んでいる。そこで現状を問う。

答 ①町の年間の支出額は、
子ども家庭課長

② 県の対象年齢の引き上げに伴い、町の浮いた金額は。

2 平成27年10月より、県の助成
対象年齢枠が拡大したことによ

問2 本町の子どもの貧困 対策の現状は

問 国の「子どもの貧困対策法」

り、本町においても拡大する考
えは。

3 3歳以上の子ども達に係る医療機関ごとの自己負担金や食事

施策を自治体に対策を総合的に策定、実施することを義務付け

の貧困問題解決にも対応可能な
施設に強化できないか。

3 各担当課で対象事業の成果目
標にそつて作成し、県国へ報告。

一九

4—



隆 知念

要項を査定中である。今議会で補正予算可決後、委託業務を発注し、お礼品を進呈する仕組みを構築していく計画になつていい。

また町内事業者や生産者へ説明に伺い、意見を聞きながら寄付者へお礼品贈呈事業の協力について了承をいただいている。

問1 ふるさと納税に対する 御礼品制度の進捗状況は

読谷村では今年の6月より「ふるさと納税」に対するお礼品の贈呈を開始しており、8月末で80件余りのふるさと納税を受け入れている。そこで本町の状況について伺う。

① 平成28年度のふるさと納税の件数は。

② 平成27年度町民が町外の自治体へ納めたふるさと納税の件数は。

③ 商工会およびお礼品を贈る業者との協議は。

答 企画財政課長

- ふるさと納税の件数は8月末で3件。
- 町外へのふるさと納税した方は30人で金額は202万円。
- 平成29年1月1日施行に向け、現在施行規則を制定し実施



嘉手納町優良特産品

問2

子どもの貧困対策として就学援助要件の拡充を図れ

沖縄県の子どもの貧困率は29%と全国平均の2倍近くになつてきている。貧困の連鎖を断ち切るためにも就学支援は大変重要なことである。

本町の状況について次の点を伺う。

- 本町における準要保護率と対象となる世帯の所得基準は。
- 就学支援を受けている非課税世帯は何世帯か。
- 就学援助の周知方法は。
- 児童扶養手当を受給している世帯も要件として認定してはどうか。
- 現行の規定で十分と考えているか。

答 ①～⑤ 教育総務課長

① 平成28年度の要保護の就学援助率は16・2%。前年度において同一生計にある全員の市町村民税が非課税であることが対象となる。

② 平成28年度に就学援助を受けている非課税世帯は166世帯、220人。

③ 就学援助の通知方法については申請の時期に全児童生徒に対して学校からチラシを配布し、また町広報誌にも織り込みチラシを配布している。

④ 児童扶養手当受給世帯を準要保護の要件にするかについては近隣市町村の状況も確認し、関係部局と協議を行いながら慎重に検討していく。

- 現行の制度は近隣市町村と比較しても費目については県内で確立してはどうか。

も充実しておりますが、対象者の認定基準については近隣と比較して見直しが必要なところもあると思う。

しかししながら給食費の全額補助、教材費の一部助成の補助なども行っており、そのことも踏まえて認定基準の見直しについては慎重に検討したい。

問3 生活困窮者に対する 支援策を図れ

平成27年度に生活困窮者自立支援法が制定され自治体は生活困窮世帯を支援することが義務化されている。様々な対策で生活困窮者が生き残ることが重要である。

北谷町においては今年より生活困窮者を支援する就職・生活支援パーソナルサポートセンターの窓口を設置し、月2回就職や生活相談を受ける体制がで



移を注視しながら必要があれば相談窓口の設置に向けて、中部支援センターと調整していきたい。

沖縄県においても県の事業として県内各所に相談窓口が配置され、嘉手納町は中部就職・生活支援パーソナルサポートセンターが相談窓口になっている。

本町への生活相談窓口の設置については今後の相談件数の推移を注視しながら必要があれば相談窓口の設置に向けて、中部支援センターと調整していきたい。

答 福祉課長



仲村渠 兼 栄

芸能の海外派遣事業実施、うたの日コンサート実施。
地方交付税が減少する現在において、予定財源の今後の方向性を伺う。

改革刷新で経費節減を図り国庫補助事業など有効に活用したい。

7 広園管理を民間委託並びに指定管理の検討は。

1 基本設計の中再検証する。

2 テニスコートの移転の進捗状況は。

1 特産品の今後の方針性は。要ではないかと考える。

また、国は改正地域資源法により、各市町村で「ふるさとブランド」を厳選すると国からの支援もある。これらを踏まえ、2点伺う。

問1
主要施策（新規・継続）事業の評価を問う

当山町長が、これまで行ってきた事業に対し、内外から高く評価する声がある。2期目も1年目が経過し、更なる施策実現のため東奔西走されている中で、改めてこれまでの実績と、これから的主要事業の展望及び、財源確保の方向性を問う。

答 町長

9 事業を実施
児童生徒の給食費の無料化実施、認可保育所の新設、学力向上対策の実施、各種予防接種の補助、文化センターの機能向上工事実施、住宅リフォーム支援事業、元気プロジェクト事業、屋良町當住宅建設、南区コミセン建設、ウォーターガーデン建設、副町長制度実施、無形文化財伝統6 調査研究を行いたい。

改革刷新で経費節減を図り国庫補助事業など有効に活用したい。

7 広園管理を民間委託並びに指定管理の検討は。

1 基本設計の中再検証する。

2 テニスコートの移転の進捗状況は。

1 特産品の今後の方針性は。要ではないかと考える。

また、国は改正地域資源法により、各市町村で「ふるさとブランド」を厳選すると国からの支援もある。これらを踏まえ、2点伺う。

問2
屋良城跡公園の総合再整備の進捗状況は

1 駐車場の増設の予定は。

答 1～7 都市建設課長

70台の増設予定。

1 勤労者体育館の構想は。

2 都市建設課長

1 特産品奨励及び支援を行う。

全国的にも勝負できる3Sバーゲーが誕生し、今後も継続している。

2 駐車場の収容台数は。機械式管理導入の予定は。

3 マリンエリアとして検証中。

300(78増)台を予定。

4 300(78増)台を予定。

5 人工ビーチ建設の予定について。

6 配置計画を検証中。

7 人工ビーチ建設の予定について。

8 人工ビーチ建設の予定について。

9 人工ビーチ建設の予定について。

10 人工ビーチ建設の予定について。

11 人工ビーチ建設の予定について。

12 人工ビーチ建設の予定について。

13 人工ビーチ建設の予定について。

14 人工ビーチ建設の予定について。

15 人工ビーチ建設の予定について。

16 人工ビーチ建設の予定について。

17 人工ビーチ建設の予定について。

18 人工ビーチ建設の予定について。

19 人工ビーチ建設の予定について。

20 人工ビーチ建設の予定について。

21 人工ビーチ建設の予定について。

22 人工ビーチ建設の予定について。

23 人工ビーチ建設の予定について。

24 人工ビーチ建設の予定について。

25 人工ビーチ建設の予定について。

26 人工ビーチ建設の予定について。

27 人工ビーチ建設の予定について。

28 人工ビーチ建設の予定について。

29 人工ビーチ建設の予定について。

30 人工ビーチ建設の予定について。

31 人工ビーチ建設の予定について。

32 人工ビーチ建設の予定について。

33 人工ビーチ建設の予定について。

34 人工ビーチ建設の予定について。

35 人工ビーチ建設の予定について。

36 人工ビーチ建設の予定について。

37 人工ビーチ建設の予定について。

38 人工ビーチ建設の予定について。

39 人工ビーチ建設の予定について。

40 人工ビーチ建設の予定について。

41 人工ビーチ建設の予定について。

42 人工ビーチ建設の予定について。

43 人工ビーチ建設の予定について。

44 人工ビーチ建設の予定について。

45 人工ビーチ建設の予定について。

46 人工ビーチ建設の予定について。

47 人工ビーチ建設の予定について。

48 人工ビーチ建設の予定について。

49 人工ビーチ建設の予定について。

50 人工ビーチ建設の予定について。

51 人工ビーチ建設の予定について。

52 人工ビーチ建設の予定について。

53 人工ビーチ建設の予定について。

54 人工ビーチ建設の予定について。

55 人工ビーチ建設の予定について。

56 人工ビーチ建設の予定について。

57 人工ビーチ建設の予定について。

58 人工ビーチ建設の予定について。

59 人工ビーチ建設の予定について。

60 人工ビーチ建設の予定について。

61 人工ビーチ建設の予定について。

62 人工ビーチ建設の予定について。

63 人工ビーチ建設の予定について。

64 人工ビーチ建設の予定について。

65 人工ビーチ建設の予定について。

66 人工ビーチ建設の予定について。

67 人工ビーチ建設の予定について。

68 人工ビーチ建設の予定について。

69 人工ビーチ建設の予定について。

70 人工ビーチ建設の予定について。

71 人工ビーチ建設の予定について。

72 人工ビーチ建設の予定について。

73 人工ビーチ建設の予定について。

74 人工ビーチ建設の予定について。

75 人工ビーチ建設の予定について。

76 人工ビーチ建設の予定について。

77 人工ビーチ建設の予定について。

78 人工ビーチ建設の予定について。

79 人工ビーチ建設の予定について。

80 人工ビーチ建設の予定について。

81 人工ビーチ建設の予定について。

82 人工ビーチ建設の予定について。

83 人工ビーチ建設の予定について。

84 人工ビーチ建設の予定について。

85 人工ビーチ建設の予定について。

86 人工ビーチ建設の予定について。

87 人工ビーチ建設の予定について。

88 人工ビーチ建設の予定について。

89 人工ビーチ建設の予定について。

90 人工ビーチ建設の予定について。

91 人工ビーチ建設の予定について。

92 人工ビーチ建設の予定について。

93 人工ビーチ建設の予定について。

94 人工ビーチ建設の予定について。

95 人工ビーチ建設の予定について。

96 人工ビーチ建設の予定について。

97 人工ビーチ建設の予定について。

98 人工ビーチ建設の予定について。

99 人工ビーチ建設の予定について。

100 人工ビーチ建設の予定について。

101 人工ビーチ建設の予定について。

102 人工ビーチ建設の予定について。

103 人工ビーチ建設の予定について。

104 人工ビーチ建設の予定について。

105 人工ビーチ建設の予定について。

106 人工ビーチ建設の予定について。

107 人工ビーチ建設の予定について。

108 人工ビーチ建設の予定について。

109 人工ビーチ建設の予定について。

110 人工ビーチ建設の予定について。

111 人工ビーチ建設の予定について。

112 人工ビーチ建設の予定について。

113 人工ビーチ建設の予定について。

114 人工ビーチ建設の予定について。

115 人工ビーチ建設の予定について。

116 人工ビーチ建設の予定について。

117 人工ビーチ建設の予定について。

118 人工ビーチ建設の予定について。

119 人工ビーチ建設の予定について。

120 人工ビーチ建設の予定について。

121 人工ビーチ建設の予定について。

122 人工ビーチ建設の予定について。

123 人工ビーチ建設の予定について。

124 人工ビーチ建設の予定について。

125 人工ビーチ建設の予定について。

126 人工ビーチ建設の予定について。

127 人工ビーチ建設の予定について。

128 人工ビーチ建設の予定について。

129 人工ビーチ建設の予定について。

130 人工ビーチ建設の予定について。

131 人工ビーチ建設の予定について。

132 人工ビーチ建設の予定について。

133 人工ビーチ建設の予定について。

134 人工ビーチ建設の予定について。

135 人工ビーチ建設の予定について。

136 人工ビーチ建設の予定について。

137 人工ビーチ建設の予定について。

138 人工ビーチ建設の予定について。

139 人工ビーチ建設の予定について。

140 人工ビーチ建設の予定について。

141 人工ビーチ建設の予定について。

142 人工ビーチ建設の予定について。

143 人工ビーチ建設の予定について。

144 人工ビーチ建設の予定について。

145 人工ビーチ建設の予定について。

146 人工ビーチ建設の予定について。

147 人工ビーチ建設の予定について。

148 人工ビーチ建設の予定について。

149 人工ビーチ建設の予定について。

150 人工ビーチ建設の予定について。

151 人工ビーチ建設の予定について。

152 人工ビーチ建設の予定について。

153 人工ビーチ建設の予定について。

154 人工ビーチ建設の予定について。

155 人工ビーチ建設の予定について。

156 人工ビーチ建設の予定について。

157 人工ビーチ建設の予定について。

158 人工ビーチ建設の予定について。

159 人工ビーチ建設の予定について。

160 人工ビーチ建設の予定について。

161 人工ビーチ建設の予定について。

162 人工ビーチ建設の予定について。

163 人工ビーチ建設の予定について。

164 人工ビーチ建設の予定について。

165 人工ビーチ建設の予定について。

166 人工ビーチ建設の予定について。

167 人工ビーチ建設の予定について。

168 人工ビーチ建設の予定について。

169 人工ビーチ建設の予定について。

170 人工ビーチ建設の予定について。

171 人工ビーチ建設の予定について。

172 人工ビーチ建設の予定について。

173 人工ビーチ建設の予定について。

174 人工ビーチ建設の予定について。

175 人工ビーチ建設の予定について。

176 人工ビーチ建設の予定について。

177 人工ビーチ建設の予定について。

178 人工ビーチ建設の予定について。

179 人工ビーチ建設の予定について。

180 人工ビーチ建設の予定について。

181 人工ビーチ建設の予定について。

182 人工ビーチ建設の予定について。

嘉手納町議会だより



奥間政秀

の協力をどのように呼びかけているか。

答 教育総務課長

① 現在、大皿1980枚、小皿

お箸3400膳、スプーン

3500本。

② 使用可能な機材、食器などは、移転後も継続使用する。但し、購入後10年以上経過又は新調理場に適合しないものは、基本的に廃棄処分するが、再利用といふ排出抑制(リデュース)、ごみの再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを基本とした資源ごみの再利用の観点から、給食センター新築に伴い、現在使用されている食器、機材などを再利用することにより、ごみの減量化が少しでも解決でき、資源を大切に使うという観点から、次の4点を問う。

③ 参加人数が50人以上、町が主催、共催している行事は、年間15回程度と思う。

答 産業環境課長

① 平成27年度末で44件、71筆。

② 国有財産法により、地方公共団体に貸付けることができるとく。

されており、また、防衛施設周辺の生活環境の整備など、無償使

用許可する場合、広場、花壇、種苗を育成するための施設、駐車場、消防、その他に必要な資材または機械を保管するための施設

で、これらに附帯する建物・工作物及び市民農園などとなつてい

る。

④ 現在、各自治体、各種団体など

の催しに対して、ごみ減量の協

力については直接は行っていない

が、一般町民に対しての取組

みの中で、ごみ減量の協力依頼を行っている。

今後、ごみの減量化への理解を深めていくために、積極的な啓発活動を進めていくことが重要である。

③ 紙皿や紙コップなどを使用する町主催の主な行事の回数は。

④ 各自治体、各種団体などへの催しに対して、ごみの減量化へ

の協力をどのように呼びかけているか。

答 教育総務課長

① 町内の国有地へ防災倉庫を設置し、防災計画において、人口20分の1の3食分、約6220食を

として活用できないか。

② 町内に何ヶ所あるか。

③ 公有地の活用をどのように考

えていたか。

④ 公共の倉庫(防災なども含む)

としての活用はできないか。

答 企画財政課長

① 平成27年度末で44件、71筆。

② 国有財産法により、地方公共団体に貸付けることができるとく。

されており、また、防衛施設周辺の生活環境の整備など、無償使

用許可する場合、広場、花壇、種苗を育成するための施設、駐車場、消防、その他に必要な資材または機械を保管するための施設

で、これらに附帯する建物・工作物及び市民農園などとなつてい

る。

④ 現在、各自治体、各種団体など

の催しに対して、ごみ減量の協

力については直接は行っていない

が、一般町民に対しての取組

みの中で、ごみ減量の協力依頼を行っている。

今後、ごみの減量化への理解を深めていくために、積極的な啓発活動を進めていくことが重要である。

③ 紙皿や紙コップなどを使用する町主催の主な行事の回数は。

④ 各自治体、各種団体などへの催しに対して、ごみの減量化へ

答 総務課長

③ 防災倉庫は、現在、各自治会含め公共施設に備蓄倉庫を設置

し、防災計画において、人口20分の1の3食分、約6220食を

として活用できないか。

しかし、さらに避難施設とし

て、小学校、幼稚園、保育所なども今後災害時に避難施設である

備蓄している。

県教育庁からの「おきなわ地

域教育の日」の活用を適用でき

ないか。

答 教育指導課長

① 町内に何ヶ所あるか。

② 町内の国有地へ防災倉庫を

中心とした多目的室な公共施設

として活用できないか。

③ 公有地の活用をどのように考

えていたか。

④ 公共の倉庫(防災なども含む)

としての活用はできないか。

以上は、さらなる備蓄が必要か、

しっかりと根拠を持つて考えつ

つ、整備するにも費用がかかる

ので、調査していく。

(日)～5日(火)で、エイサーまつりは6日(水)の予定。

夏休み明けの平日の場合、授業終了後の放課後を活用して参加できると考えている。

再問

問2

町内の国有地活用は

答 総務課長

③ 防災倉庫は、現在、各自治会含め公共施設に備蓄倉庫を設置

し、防災計画において、人口20分の1の3食分、約6220食を

として活用できないか。

しかし、さらに避難施設とし

て、小学校、幼稚園、保育所なども今後災害時に避難施設である

備蓄している。

県教育庁からの「おきなわ地

域教育の日」の活用を適用でき

ないか。

答 教育指導課長

① 町内に何ヶ所あるか。

② 町内の国有地へ防災倉庫を

中心とした多目的室な公共施設

として活用できないか。

③ 公有地の活用をどのように考

えていたか。

④ 公共の倉庫(防災なども含む)

としての活用はできないか。

以上は、さらなる備蓄が必要か、

しっかりと根拠を持つて考えつ

つ、整備するにも費用がかかる

ので、調査していく。

(日)～5日(火)で、エイサーまつりは6日(水)の予定。

夏休み明けの平日の場合、授業終了後の放課後を活用して参加できると考えている。

（）



照屋唯和男

は、事業計画の方法の一つとして関係課と一緒に検討するかというものが重要と言わ

4 軍用地を返還する場合にはそ

の権利者の立場や返還して何をするかというものが重要と言わ

れたが例えは兼久マリーナで、ウォーターフロント計画での内

容を見れば全て整っていると思

土地利用計画と住環境整備の現状と課題は

1 空き地調査の結果、宅地利用可能な土地地主との交渉や計画内容は。

答 ①・② 都市建設課長

1 施策案の絞り込みを行つている状況。

2 若者が安心して住み続け、子育てをしていく環境づくりとしての家賃補助制度などの政策は。

2 基礎調査をもとに支援手法や助成金の制度化について施策の検討。

3 町所有の土地と等価交換制度を活用して休眠地を動かすことを考えていいなか。また、軍用地提供施設も同等地に返還を伴つて、町の活性化計画に取り入れていけないか。

3 等価交換制度の活用について

1 町出身の子ども達で好成績を残した者や県代表に選出された

町出身のスポーツに取り組む子ども達の環境整備及び支援を

問 2

発達障害支援の現状と課題は

問 3

議会答弁の正答維持と行政運営との整合性は

1 町内にどのくらいの方がいるか把握されているか。

2 町の相談窓口での支援方法、これまでの状況は。

1 福祉制度、サービスなどにか

2 福祉課長

3 福祉制度の活用について

答 企画財政課長

1 町出身の子ども達で好成績を

2 残した者や県代表に選出された

3 等価交換制度の活用について

答 福祉課長

<b



均 均 当

ついて要請を行った。

現在は外来機の暫定配備などがないことから視察日程は未定

だが、今後の状況変化により日程調整を図りたい。

問 基地使用協定(案)は、本町がシンポジウムなどの開催を

町民代表とともに作成したものだが、作成から年月が経ち協定

(案)に盛り込んだ内容は町民に周知されているとはいえない。

（案）に盛り込んだ内容は町民に周知されているとはいえない。

沖縄防衛局が発表した「平成27年度嘉手納飛行場における航空機の運用実態目視調査」結果により、嘉手納基地への外来機飛来が常態化していることが浮き彫りになつた。基地の諸問題の改善に向けて積極的な対応、取組みを求め次の質問を行う。

問 翁長知事の嘉手納基地の視察に向けての取り組みは

去る3月議会一般質問において、町長は「翁長県知事の嘉手納基地の視察要請に向けて検討していく」と答弁されたが、実現に向けての取組みは。

答 基地涉外課長

騒音激化など状況変化により日程調整を図りたい

6月24日、知事公室長に対して知事の嘉手納基地状況視察に

感じているが、これからも引き続き諸問題の解決に向けて、要請に取り組んでいく所存である。

議員提案のシンポジウムなど

の開催については、そのことが作用するのかを考慮する必要があると考えている。

年内には町独自の実態調査が実施できると考えている。

問 アンケート調査で集約した数値・データを誰がどのように分析するのか

町独自の実態調査は、小学校4年生から中学生までの900人を対象に実施すると聞いている。アンケート調査票の配布・回収の手法は、設問内容は、また集約した数値・データを誰がどのように分析するのか。

答 こども家庭課長

「アンケートは学校から配布・回収」という手法で

アンケート実施の手法として、学校から配布を行い、回収についても学校での回収並びに郵送での回収という形を考えている。

答 こども家庭課長

「アンケートは学校から配布・回収」という手法で

アンケート実施の手法として、学校から配布を行い、回収についても学校での回収並びに郵送での回収という形を考えている。

答 総務課長

他自治体の事例調査を行い実施の可否を検討

今回の防犯カメラの設置に関する嘆願書において示された道

路は、商店街の道路であり撮影される建物が店舗のみと想定さ

れること、また要望通りに面する商店街を構成する店舗の

方々から出されていること、更に他の自治体において商店街が防犯カメラを設置した事例があ

ることなどから、一般道路への設置とは状況が異なると考えている。今後、他自治体における事例調査などを行い、実施の可否について検討していきたい。

嘉手納町内の通りに防犯力メラ及び防犯灯の設置を求める嘆願に対する対応は

問 3

今年5月、「嘉手納町内の通りに防犯カメラ及び防犯灯の設置を求める嘆願に対する対応は

に防犯カメラ及び防犯灯の設置を求める会」は、新町通りに設置された光が横に広がる形状のため歩道や道路に十分な光量が届いていないこと。更にひつたくり事件も発生していると指摘したうえで、賛同者の署名も添付していよいよ件に反映するが、この嘆願に対する町の対応は。

町独自で実態調査を実施する

町独自での実態調査の実施についても、沖縄県子どもの貧困

の業者にどこまで分析ができる

のか、その辺は調整をしながら

発注していきたい。

また、分析などについては、そ

の業者にどこまで分析ができる

のか、その辺は調整をしながら

発注していきたい。

町独自での実態調査の実施についても、沖縄県子どもの貧困

の業者にどこまで分析ができる

のか、その辺は調整をしながら

発注していきたい。

また、分析などについては、そ

の業者にどこまで分析ができる

のか、その辺は調整をしながら

発注していきたい。

なお、県の9月補正予算及び

本町の一般会計補正予算決議後

に、事業着手が可能となるので、

嘉手納町民の99%基地被害の犠牲の上にゼロ金利、軽減税率もいまって、軍用地が金融商品化され売買されている状況にあり、自主財源の適正確保や適正課税を図ることが肝要かと思われるがいかがか。

嘉手納町所在の軍用地が一部富裕層や大企業、中国の華僑の爆買いにあり、現在では所有者の70%以上が町外の者であることはいなめない。

6月定例会において、各税の種目別の課税客体について、適正に把握されているのかどうかということで、特に固定資産税に対する質問をしてきたが、今回も引き続き伺う。



田崎博美

問1 固定資産税に対する課税が適正に把握されているか

2 軍用地に係る固定資産税の課税軽減優遇措置があるのか、ないのかその理由についてもお答えいただきたい。



嘉手納基地の風景

再問
答 稅務課長

字嘉手納については、平成24年度は4万1764円、平成25年度は4万1273円、平成26年度は4万1104円、平成27年度は4万884円となつています。

2 軍用地に係る固定資産税は、民間地と同様、鑑定価格をもとに評価額の算出、課税を行つており、課税軽減優遇措置はない。

答 稲葉義典
答 町長

先ほど答弁があつたとおり、軍用地に係る固定資産税は民間地と同様に鑑定評価をもとに評価額の算出、課税を行つておりますという答弁であり、したがつて、町としては軍用地についても適正に課税されていると理解している。

述べていただいた課税数値から、軍用地と民有地の課税格差が2倍、民有地エリア内での転出補償に関わる税金の控除額は2500万円、軍用地は5000万円の控除が適用されている。ここでも2倍の格差、売買するときも数倍の数値を占めている実態であり、今一度検証し直す必要があると思うがいかがか。



嘉手納基地の風景

1 嘉手納飛行場(土地)の固定資産税計算書及び単価(評価額)の推移について、平成24年度、平成25年度、平成27年度、平成28年度について、おのおの明示されたい。

答 稅務課長

1 平成27年度から平成28年度までの1平米当たりの評価額は、嘉手納飛行場については2万1210円。

答 稅務課長

総務省の基準に基づいて課税をしている。60%の賦課についても総務省の基準通りで賦課しており、売買実例に基づいており、売買実例に基づいて賦課している。

答 稲葉義典
答 町長

なお、先程も答弁した通り、固定資産税に関し、課税軽減優遇措置はない。

答 稲葉義典
答 町長

先ほど答弁があつたとおり、軍用地に係る固定資産税は民間地と同様に鑑定評価をもとに評価額の算出、課税を行つておりますという答弁であり、したがつて、町としては軍用地についても適正に課税されていると理解している。

また、82%が今嘉手納基地が占めているということであったが、そういう状況も踏まえて、先ほど申し上げましたように、軍用地は軍用地としての鑑定評価をしながら適正な評価額、そしてそれに基づく課税を行つているということであり、特に問題はないと思う。

再問



徳里直樹

子どもの貧困問題を問う

問1



子ども達の明るい未来へ



- ① 子ども貧困対策の推進に関する法律の内容は。
- ② 「沖縄県子どもの貧困対策計画」の内容及び本町の取り組みは。
- ③ 平成24年3月に改正された沖縄振興特別措置法において、子育て支援の充実と社会生活円滑に當る上で困難を有する青少年の修学及び就業への援助などの新たな規定の内容は。
- ④ 沖縄振興計画「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の後期計画に向けて子どもの貧困対策などの追記内容は。

- ⑤ 沖縄子どもの未来県民会議の内容は。
- ⑥ 内閣府による沖縄子供の貧困緊急対策事業の内容及び本町の取組みは。
- ⑦ 県が3月に創設した「県子どもの貧困対策推進基金」の内容及び本町の取組みは。

- ⑧ 本町の就学援助制度の現状と課題は。
- ⑨ 沖縄労働局は「パパ・ママお仕事応援キャンペーン」の一環に行され、国や地方公共団体の責務が示された。沖縄県も様々な対策や施策が実施されている。本町の取り組みについて伺う。

- ⑩ 子ども家庭課長
- 答 子ども家庭課長
- ① 子どもの貧困対策を総合的に推進する事を目的に制定。
- ② 県民運動として子どもの貧困対策の展開や施策が記載。
- ③ 子育て環境の整備を適切に配慮、障害を有する青少年などに対する援助の実施に努めるこ

- ④・⑤ 貧困解消の推進、県民への広報、啓発活動、NPO法人への支援、ひとり親家庭の親の雇用促進、正規雇用への転換に関すること。民間資金による基金創設に關すること。
- ⑥ 子どもの貧困対策支援事業、子どもの居場所の運営支援事業、協議会運営事業の3つの事業。
- ⑦ 基金総額30億円のうち、27億円を市町村に充てる。嘉手納町の子どもの実態調査を実施したい。
- ⑧ 就学援助率は18・7%。準要保護児童・生徒のみの就学援助率は16・2%である。
- ⑨ 広報かでなへの掲載や児童扶養手当の現況届案内通知とチラシを同封し、周知を行った。

- ⑩ 課題は関係部局と協議を行い、慎重に検討。
- ⑪ 平成30年度から都道府県が市町村とともに財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、国保運営の中心的な役割を担い、制

- 度を安定化させることになつてが拡充していくなかで、役場の庁舎内に相談ができる場づくりが必要かと思うがいかがか。
- ② 本町では、県平均、全国平均よりも低い医療費、県平均よりも高い調定額、県平均、国平均を上回る徴収率を保持している状況で、毎年一般会計からの繰り入れを行つてている。
- ③ 必要があるのでないかと、今感じている。
- ④ 町長
- 問2
- 国民健康保険を問う

国民健康保険を問う

問2

- ① 国民健康保険の都道府県単位化の内容は。
- ② 本町の国民健康保険財政の現状と課題は。
- ③ 町民保険課長

- 問 子どもの貧困に対する支援が拡充していくなかで、役場の庁舎内に相談ができる場づくりが必要かと思うがいかがか。
- ② 本町では、県平均、全国平均よりも低い医療費、県平均よりも高い調定額、県平均、国平均を上回る徴収率を保持している状況で、毎年一般会計からの繰り入れを行つていている。
- ③ 必要があるのでないかと、今感じている。
- ④ 町長
- 問2
- 国民健康保険を問う

- ⑤ 医療機関の職員や地域住民の皆様を網羅したチームの設置は検討していきたい。」という答弁への現在の取組みは。
- ⑥ 医療費抑制に向けた動きといふことで、活発化させていこうと課内では考えている。

答 町民保険課長

- ⑦ 医療費抑制に向けた動きといふことで、活発化させていこうと課内では考えている。
- ⑧ 医療費抑制に向けた動きといふことで、活発化させていこうと課内では考えている。
- ⑨ 広報かでなへの掲載や児童扶養手当の現況届案内通知とチラシを同封し、周知を行つた。

**沖縄県町村議会議長会会長
中部地区町村議会議長会会長再任**

平成28年10月7日に中部地区町村議

会議長会の定期総会が開催され、任期満了による役員選挙の結果、本町の徳里直樹議長が会長に選出された。

また、10月12日に開催された沖縄県町村議会議長会定例理事会においても、徳里議長が会長に選出された。



徳里議長は、「会下町村の振興発展のために役員とともに力を尽くして参りたい。」と会長再任の意気込みを語った。



平成28年8月4日(木)町村議会正副議長・正副委員長研修会
正副議長・正副委員長研修会がちゃんとニライセンターで行なわれた。

最初に地方議会人の挑戦・変わる議会と議会改革の通信簿と題し、明治中郵章氏が講演した。次に沖縄観光の現状と課題と題し、琉球大学名誉教授芳郎氏が講演した。

町村議会正副議長・正副委員長研修会



平成28年8月12日(木)町村議会議員・事務局職員研修会
正副議長・正副委員長研修会が開催された。講師として前泊博盛氏(沖縄国際大学教授)を招いて、米軍安保条約と地位協定についてご講話いただいた。

在日米軍をウルトラマンに例えるなど分かりやすい講演内容であった。
懇親の部ではロータリープラザに移動して各町村議員と懇親を深めながらいろいろな情報交換をし、これからの中北部地区的の未来について語り合った。

町村議会議員・事務局職員研修会

平成28年10月13日町村議会議員・事務局職員研修会が糸満市で行なわれた。第1部では子どもの発達課題と発達支援を名護療育医療センター診療部長の勝連啓介氏、県内における発達障害者支援の現状とこれから取り組みについてを、沖縄県発達障害者支援センター主任与那城郁子氏が講演した。第2部では「いい栄養で、いきいき元気!認知症予防!」の題で沖縄メディカル病院副院長の吉田貞夫氏が講演した。



町村議会議員・事務局職員研修会

あなたも参加してみませんか

議会見てある記

みんなの議会へ

No.67



琉球新報社 中部支社
報道部 ゆり
清水 柚里さん

議会ではフレア誤射や外来機の飛来など議会ではさまざま抗議決議や意見書も可決される。議員さんの一般質問でも基地に関するものは数多い。

嘉手納町に住んでから約8ヶ月になる。出身は千葉県で、今までに県内で2カ所の地域に住んだが、米軍嘉手納基地の騒音や悪臭をまさに自分の体で感じるようになり、正直ここまでひどいのかと驚いた。深夜2時半に100デシベルの爆音で起きた。當時は私自身も記者として、町民として怒りが収まらなかつた。

一方で、基地だけでなく、町の公共事業や地域振興などに関する質問もまた多い。「嘉手納は基地の話だけない」という気持ちを誰もが持っているという印象を受けている。道路や学校に関するものなど生活に直結する議題にも注目したい。

議会の「議」が苦手だったので、字のバランスや大きさなどに気をつけたり、ていねいに書くようこころがけて書きました。

題字紹介

屋良小学校6年生
いしみね
石嶺 杏佳さん

議会だより



議会の「議」が苦手だったので、字のバランスや大きさなどに気をつけたり、ていねいに書くようこころがけて書きました。

**基地被害苦情110番
TEL 0800-200-2665**

●発行・嘉手納町議会 ●編集・議会広報調査特別委員会
〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納588番地 TEL 098-956-3113 FAX 098-956-3100